



中津江

Nakatsu



春の桜を楽しみに

10月21日、「下笠ダム周辺下草刈交流会」が開催された。この交流会は春の蜂ノ巣湖桜まつりに続いて行われるもので、中津江村を水源地の一つとする福岡市の住民が地元の人と共に植樹してきた木々の手入れや下草刈りを行った。作業で汗を流しながらも上下流域の住民で会話も弾み、かつての参加者が植えた桜の木々の周りを大切に整備した。



秋深まる山々の中で音楽を鑑賞

10月14日、中津江ホールで「中津江ミュージックフェスティバル“番外編”」が開催された。通常編は例年と同じく8月に開催したが、今回は国民文化祭応援事業として開催された。昭和55年に「過疎の村からのメッセージ」をサブタイトルに村の若者たちによって始まった手作りの野外音楽祭は、今回も音楽ファンの熱気でにぎわった。

大山

Oyama



横綱目指して 発気揚々！残った！

10月28日、老松神社で「第46回大山町ちびっこ相撲大会」が開催された。化粧まわしを着けた児童らが土俵入りを披露。地区対抗や学年別の白熱した取組に、観客から大きな拍手や声援が送られた。特別ゲストは地元力士・琴太豪と琴宇留賀。ぶつかり稽古で子供たちを軽々と持ち上げたり、面白く決まり手の実況を加えたりと、更に会場を沸かせた。



コロオドル芸術の秋

10月14日、旧鎌手小学校体育館で「おおやま清流文化まつり」が開催された。参加者は、地元バンドの元気な演奏に体を揺らし、プロマジシャン「WAZUMA」の瞬時に変わる華やかな変面やイリュージョンに感嘆し、会場は大歓声に包まれた。次々と繰り出されるワクワドキドキの不思議なショーに、観客は心躍らせ、秋の夜長を楽しんだ。



まちの話題

日田

Hita



ツアーで林業体験

10月19日・20日の2日間「ひた林業体験ツアー」が行われた。このツアーは林業に興味のある人が林業を体験し、就業へつなげていくために開催されたもので、原木市場・製材所の視察や林業施業地で下刈り、枝払い体験を行った。森林資源を素材として生産する林業の現場で参加者は、体験を通じて興味深く学んでいた。



2年振りの民陶祭

10月13日・14日の2日間、小鹿田焼の里で「第55回小鹿田焼民陶祭」が開催された。昨年は九州北部豪雨災害の影響で中止となったが、窯元の努力によって2年振りの開催となった。民陶祭開催を待ちわびた多くの陶芸愛好者が陶器を買い求めに小鹿田焼の里を訪れ、唐臼の音が響く秋晴れの山里にたくさんの笑顔があふれていた。



いきいき地域になったばい！

11月5日、大分県立総合体育館で、大分県元気アップ体操交流大会が開催され、京町いまいし元気クラブが「いきいき地域で賞」を受賞した。この賞は、週に1回地域の人々が主体となって活動し、こども園との交流や居場所づくり等の活動が認められた。交流大会では、県内で同様の取組をしている人が200人以上集まり体操を通して交流を行った。



地域住民に寄り添って

10月26日、平成30年度行政相談委員総務大臣表彰を受賞した井上太香美さんが市長報告に訪れた。井上さんは、平成15年から15年以上にわたり、地域住民から行政上の苦情や要望を受けて助言、関係行政機関に対する改善の申入れ等を行ってきた。昨年の九州北部豪雨災害では、被災者に寄り添い、多くの人の生活相談や問題解決に尽力された。